

対象	治験略称	治験段階	実施方法	選択基準（抜粋）
卵巣癌				
卵巣癌III期初回 腫瘍減量完全切除術後 一次治療後の維持療法	NIRVANA-1	第II相	1:1に無作為化 ・ Niraparib + Bevacizumab ・ Niraparib	・ 上皮性卵巣癌III期初回腫瘍減量術後、肉眼的残存腫瘍なし ・ 高異型度漿液性/類内膜癌(G2/3)あるいはBRCAmut ・ HRDtestでBRCAステータス検査
卵巣癌III/IV期、一次治療後の維持療法	GALAXY-OV症例に対する維持療法	第II相	1:1に無作為化 ・ Niraparib + Bevacizumab ・ Niraparib	・ 上皮性卵巣癌III/IV期IDS後ctDNA陽性（GALAXY-OV）
卵巣癌III/IV期、一次治療後の維持療法	DESTINY-ovarian01	第III相	Trastuzumab Deruxtecan （注射剤：抗HER2抗体薬物複合体） + Beverizumab	・ 上皮性卵巣癌III/IV期 TC+Beverizumab（TC4サイクル以上）治療中 ・ Beverizumab維持療法を予定している ・ HRP（あるいはBRCAwt HRD） ・ HER2 IHC 1 +以上
初回プラチナ感受性再発卵巣癌	Trofuse-022	第III相	化学療法±Beverizumab6サイクル後に無作為化 ・ Sacituzumab Tirumotecan (MK-2870) （注射剤：抗TROP-2抗体薬物複合体） + Beverizumab 維持療法 ・ Beverizumab維持療法 or 経過観察	・ 初回プラチナ感受性再発卵巣癌 （組織型：粘液性癌以外） ・ 再発腫瘍切除術可 ・ 化学療法は原則6サイクル
プラチナ抵抗性再発卵巣癌	RAINFOL-02 / RAINFOL-02	第III相	1:1に無作為化 ・ Rinatabart Sesutecan （注射剤：抗FRα抗体薬物複合体） ・ 医師選択化学療法	・ プラチナ抵抗性再発卵巣癌 ・ 高異型度漿液性/類内膜 ・ RECIST測定可能病変あり
プラチナ抵抗性再発卵巣癌	CDK2阻害薬の第II相試験	第II相	INCB123667 （経口：CDK2阻害薬）	・ プラチナ抵抗性再発卵巣癌(4ライン以内) ・ 高異型漿液性癌 ・ Cyclin E1発現およびFRA陰性 ・ 測定可能病変1か所以上
再発卵巣明細胞癌	DOVE	第II相	1:1:1に無作為化 A群: Dostarlimab（注射剤：抗PD-1抗体） B群: Dostarlimab +ペバシズマブ C群: 医師選択治療 A, Cは増悪時にクロスオーバー可	・ プラチナ含有の全身療法後12か月未満の再発卵巣明細胞癌 ・ 最大5ライン以内 ・ WT1陰性
プラチナ抵抗性再発卵巣癌	FONTANA	第I/IIa相	AZD5335 （注射剤：抗FRα抗体薬物複合体）	・ high-grade プラチナ抵抗性再発卵巣癌(3ライン以内) ・ FRA-ultra low (IHC25%未満) のみ ・ 測定可能病変1か所以上

対象	治験略称	治験段階	実施方法	選択基準（抜粋）
子宮体癌				
進行/再発子宮体癌 一次治療	TroFuse-033	第III相	1:1に無作為化 TC+Pembrolizumab後 ・ Pembrolizumab + Sacituzumab Tirumotecan (MK-2870) (注射剤：抗TROP-2抗体薬物複合体) ・ Pembrolizumab	・ 進行・再発子宮体癌 初回化学療法導入 ・ pMMR ・ Stage III 測定可能、Stage IV/再発で測定/評価可能病変あり
再発子宮体癌 二次治療	ASCENT-GYN-01 / GOG-3104 / ENGOT-en26	第III相	1:1に無作為化 ・ Sacituzumab Govitecan (注射剤：抗TROP-2抗体薬物複合体) ・ 医師選択治療	・ 再発子宮体癌(癌肉腫含む) ・ 全身化学療法（プラチナ含む）および免疫治療増悪後 ・ 測定可能あるいは不能病変 ・ 既往3ラインまで
再発子宮体癌 二次治療	BLUESTAR-Endometrial01	第III相	1:1に無作為化 ・ AZD8205 (P-Sam) (注射剤：抗B7-H4抗体薬物複合体) ・ 医師選択治療	・ 再発子宮体癌(癌肉腫含む) ・ 全身化学療法（プラチナ含む）および免疫治療増悪後 ・ 測定可能病変 ・ 既往2ラインまで ・ B7-H4陽性のみ（プレスクリーニング可）
再発子宮体癌 二次治療	RAINFOL-03	第III相	1:1に無作為化 ・ Rinatabart Sesutecan (注射剤：抗FRα抗体薬物複合体) ・ 医師選択化学療法	・ 再発子宮体癌(癌肉腫除外) ・ 全身化学療法（プラチナ含む）および免疫治療増悪後 ・ 測定可能病変 ・ 既往3ラインまで
再発子宮体癌 二次治療	BLUESTAR	第IIa相	・ AZD8205 (P-Sam) (注射剤：抗B7-H4抗体薬物複合体)	・ 再発子宮体癌 全身化学療法後増悪 ・ Neoadjuvant., Adjuvantは6か月未満の再発のみ ・ 既往2ラインまで
再発子宮体癌 二次治療	E7386-J081-102 の治験	第Ib相	4群に無作為化 ・ E7386 120mg(内服：Wnt/β-Catenin阻害薬) + Lenvatinib ・ E7386 60mg + Lenvatinib ・ Lenvatinib 24mg内服 (PD後cross over可) ・ 医師選択化学療法(PD後cross over可)	・ 再発子宮体癌 ・ 全身化学療法および免疫治療増悪後 ・ 3ライン以内

対象	治験略称	治験段階	実施方法	選択基準（抜粋）
子宮頸癌				
高リスク局所進行子宮頸癌	eVOLVE Cervical	第III相	CCRT後 1:1に無作為化 ・ Volrustomig (注射剤：抗PD-L1, CTLA-4二重特性抗体) ・ Placebo	子宮頸がん（FIGO2018）III, IVA期, 傍大動脈リンパ節転移も可, CCRT後 ・ 扁平上皮癌, 腺癌及び腺扁平上皮癌 ・ 毒性Grade2未満
再発／転移性子宮頸癌 二次治療	TroFuse-020 / GOG-3101 / ENGOT-cx20	第III相	1:1に無作為化 ・ MK-2870 (注射剤：抗TROP-2抗体薬物複合体) ・ 医師選択治療	・ 再発子宮頸がん(扁平上皮癌, 腺癌及び腺扁平上皮癌)二次治療 ・ プラチナ製剤を含む化学療法後 ・ 前治療のレジメンの一部として抗PD-1/抗PD-L1療法後

多癌腫

プラチナ抵抗性再発卵巣癌・再発子宮体癌	ZW191 : FRα標的ADCの第I相試験	第I相	ZW191 (注射剤：抗FRα抗体薬物複合体)	・ プラチナ抵抗性再発卵巣癌 ・ 子宮体癌：化学療法・免疫チェックポイント阻害剤後の増悪
卵巣癌・子宮体癌・子宮頸癌などの進行固形癌	GSK5733584 : B7-H4標的ADCの治験	第I/II相	GSK5733584 (注射剤：抗B7-H4抗体薬物複合体)	・ 1b:子宮体癌は化学療法・免疫チェックポイント阻害剤後の増悪(2ライン以内) 1b:卵巣癌はHigh Gradeのみ、プラチナ抵抗性3ライン以内
				(2025年10月5日作成)